

平成19年度当初予算から見てくる「廃プラスチックの資源化」表明区の実施意欲

区名 <u>清掃工場未設区</u>	人口	区収集 不燃ご み量	家庭系 不燃ご み	うちプラ スチック 製容器 包装	「廃プラスチックの資源化」取組			容器包装プラスチック(ペットボトル以外) 資源化ルート(平成19年度) 青字は予定・見込み(未確認)	
					予算書 事業概要タイトル	実施内容 (予算概要から抜粋)	関連予算額 (円)	選別・保管 委託事業者	委託単価 (保管場所)
千代田	45,925	4,862	3,403	1,225	23区で初、容器包装の資源回収を区内全域で実施します。(新規)プラスチック製容器包装の資源回収	19年10月から、プラスチック容器包装廃棄物の資源回収を、23区で初めて区内全域で実施。	59,069,000	(合)戸辺商事 第7作業所	6万円台/トン (足立区)
港	194,407	15,034	10,524	3,789	プラスチック資源回収 臨時(新規)	23区で初めて、容器包装プラスチックだけでなく、すべてのプラスチックを集積所から資源として回収します。	133,260,000	?	?
新宿	305,352	22,464	15,725	5,661	プラスチックの回収 新規	平成19年7月よりモデル回収実施 古紙回収にあわせ週1回の資源回収日区内ごみ集積所 平成20年度本格実施	84,905,000	(合)戸辺商事 第7作業所	6万円台/トン (足立区)
品川	344,284	19,717	13,802	4,969	サーマルリサイクルモデル地区 リサイクル品目の拡大	今以上にリサイクルを徹底するため、サーマルリサイクルモデル地区内では容器包装プラスチック(トレイ、ボトル)・蛍光管の2種類を資源回収品目として追加する。今回のリサイクル品目の拡大で、回収品目は5品目9分別から7品目11分別となり、23区内でもトップレベルの品目数を誇り、ごみの減量・リサイクルを推進することが可能になる。(小学校等の拠点回収を含めると品川区の資源回収は10品目14分別となる。	35,131,000	?	?
目黒	256,138	15,006	10,504	3,782	廃プラスチックリサイクルの促進 びん・缶・ペットボトル・ 資源プラの分別回収モデル事業	びん・缶・ペットボトルに加え、プラスチックマークのついたプラスチック製容器包装を貴重な資源として有効活用するため、19年度は10月から区内20%のモデル地域で回収を始め、20年度には全区展開する予定	151,033,000	南部地域の 某所予定?	? (墨田? 江東?)
中野	308,570	17,111	11,978	4,312	プラスチック製容器包装の回収 拡充	平成20年度に予定しているプラスチック製容器包装回収の全区展開が円滑に行えるよう、19年度は、区内の半分程度まで回収地域を拡大(回収量320トン 1,400トン)	208,049,000	(合)戸辺商事 第7作業所	65,000円/トン (足立区)
杉並	526,927	26,516	18,561	6,682	ごみ収集・資源の分別促進 プラスチック製容器包装集積所回収	不燃ごみの約6割を占めるプラスチックのリサイクルを推進するため、区内の3分の1(約96,000世帯)をプラスチック製容器包装の分別収集地域に指定し、回収目標を1,398トンに増加して実施	225,748,000	新日本製鐵(株) 東京製造所	69,000円/トン (板橋区)

区名 清掃工場 未設区	人口	区収集 不燃ご み量	家庭系 不燃ご み	うち容器 包装製 プラスチック	「廃プラスチックの資源化」取組			容器包装プラスチック(ペットボトル以外) 資源化ルート(平成19年度) 青字は予定・見込み(未確認)	
					予算書 事業概要タイトル	実施内容 (予算概要から抜粋)	関連予算額 (円)	選別・保管 委託事業者	委託単価 (保管場所)
豊島	251,890	16,295	11,407	4,106	新資源回収事業(毎週型の導入) 23区ナンバーワンの リサイクル体制をめざします!	廃プラサーマルのモデル実施に合わせて、現在、週1回・2週間で全品目回収となっている資源回収を、週2回・1週間で全品目回収する新資源回収事業(毎週型)のモデル実施を行う。平成20年度中には全域に展開し、資源率の向上を図る。H19年度からは新たな資源回収品目についても検討を行い、H22年度以降の本格実施を目指す。他区に例を見ない先進的な資源回収システムを構築する。(現在は8品目12分別の23区中最多品目となる資源回収を実施中)	プラ以外含 事業費 885,786,000 拡充費 73,522,000	?	?
練馬	685,663	36,868	25,808	9,291	新分別による 廃プラスチックのモデル収集事業	一部の地域で、容器包装プラスチックを資源ごみとして収集します、その他のプラスチックは可燃ごみとして収集し、焼却して熱エネルギーを回収します。	163,120,000	?	?
葛飾	438,987	26,373	18,461	6,646	プラスチックごみのリサイクルに伴う モデル収集の実施 【新規】	一般廃棄物処理基本計画に基づく、資源循環型社会の構築を目指し、プラスチックごみについて、資源としていっそうの有効活用を図るため、区内の一部の地域において、ごみの分別方法の変更によるモデル収集をおこなう。分別方法については「燃やすごみ(可燃ごみ)」「燃やさないごみ」「プラスチック製容器包装(プラスチックマークの日)へと変更する。20年度から区内全域へ拡大の本格実施	25,000,000	(株)市川環境 エンジニアリング 習志野 リサイクルセンター	4万円弱/トン (習志野市)
江戸川	660,480	35,277	24,694	8,890	ごみの減量と資源のリサイクル プラスチック分別回収モデル事業(新)	平成20年度からのプラスチック分別変更の全区実施に向けて、容器包装プラスチックのリサイクル事業を開始する。 スケジュール 19年3月～ 小岩清掃事務所管内一部 1,600集積所 19年10月～ 小岩清掃事務所管内全域 8,700集積所 20年4月～ 区内全域で実施 21,400集積所	166,887,000	(株)市川環境 エンジニアリング 習志野 リサイクルセンター	4万円弱/トン (習志野市)

江東区と同程度のごみ量

- 1.人口は平成17年10月1日現在「住民基本台帳による世帯と人口(含む・外国人登録人口)」
- 2.区収集不燃ごみ量は東京二十三区清掃一部事務組合「清掃事業年報」平成17年度から作成
- 3.家庭系不燃ごみ量は清掃一組「ごみ排出源単位等実態調査」生活系ごみ発生量より試算
- 4.容器包装ごみ相当量は江東区の組成調査約36%で試算
- 5.当初予算、予算の概要等は各区のホームページから

作成：渡辺(2006.6.24)